

令和2年度11月補正予算資料

区分	9月補正後予算額	11月補正予算見込額	合計
一般会計	2,838,763,217	50,766,335	2,889,529,552
特別会計	1,355,373,018	1,154	1,355,374,172
企業会計	254,639,799	△53,231	254,586,568
合計	4,448,776,034	50,714,258	4,499,490,292

新型コロナウイルス感染症拡大において、医療機関への支援、PCR検査態勢の拡充、時間短縮営業への支援等。ICT環境整備やデジタル化の促進など多岐にわたります。(下段参照下さい)

令和2年度11月補正予算
203億7225万円余の補正予算
及び、特別会計、企業会計を審議。

◎令和2年度
9月補正予算について

令和2年度11月補正予算
203億7225万円余の補正
予算及び条例関係議案10件、
その他議案83件
の審議を行うと
共に、各委員会
においても多岐
にわたる審議が
行われた。



愛知県議会だより
QRコード



愛知県議会 HP
QRコード

会期 2020年11月27日より
12月16日まで

「11月定例議会」

令和2年度11月補正予算内容

予算額 (備考)

1. 診療・検査医療機関の設備導入を支援します。 41億1897.2万円 (新規)
2. 新型コロナウイルス感染症対策のPCR検査を拡充します。 32億6772.0万円 (9月補正後38億4544.1万円→11月補正後71億1316.1万円)
3. 医療機関等の医療従事者や職員等に慰労金を交付します。 59億2370.0万円 (6月補正後176億4796.6万円→11月補正後235億7166.6万円)
4. 新型コロナウイルス感染症対策のために働く医療従事者を支援します。 8億6160.0万円 (5月補正後37億4020.0万円→11月補正後46億0180.1万円)
5. 新型コロナウイルス感染拡大を防止しながら開催する子ども食堂への支援をします。 1750.0万円 (新規)
6. 避難所等における感染防止対策の支援をします。 1億6000.0万円 (9月補正後4億0000.0万円→11月補正後5億6000.0万円)
7. 新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少した世帯に対する貸付事業を拡大します。 37億6099.1万円 (9月補正後134億7600.9万円→11月補正後172億3700.0万円)
8. 県立学校における新型コロナウイルス感染症対策や、学習保証に必要な取組の充実を図ります。 2億8400.0万円 (6月補正後5億4000.0万円→11月補正後8億2400.0万円)
9. ICT環境の整備の推進により新たな時代に相応しい教育を実現します。 22億4453.0万円 (9月補正後49億007.8万円→11月補正後71億8460.8万円)
10. 県行政のデジタル化に向けた取組を加速させます。 460.1万円 (新規)
11. 県内企業におけるデジタル技術の活用を促進するため、デジタル技術の活用状況等について調査します。 780.0万円 (新規)
12. イノベーションを創出する愛知県独自のエコシステムを形成するため、スタートアップ支援拠点の整備を推進します。 2059.0万円 (外に債務負担行為35億0200.0万円)
13. 営業時間の短縮の要請に応じて頂ける事業者に対し、「愛知県感染防止対策協力金」を交付します。(追加提出) 10億5100.0万円
14. ひとり親家庭へ臨時特別給付金を採支給します。(追加提出) 1億6993.7万円 (6月補正後3億2297.7万円→11月補正後4億9291.4万円)
支給額 1世帯 50,000円
第2子以降児1人につき 30,000円加算
また、収入が大きく減少したことが確認された場合は 1世帯 50,000円加算
15. 営業時間の短縮の要請に応じて頂ける事業者に対し、「愛知県感染防止対策協力金」を交付します。(追加提出) 303億4200.0万円 (現行10億5100.0万円→313億9300.0万円)
※短縮要請エリア拡大にともなう、13項の追加。

◎建設委員会

12月6日

【朝日 将貴】
公共工事で発生する建設残土の処分に対しどのような取り組みを行っているのか伺う。

【建設企画課長】

愛知県が発注する公共工事については「愛知県建設副産物リサイクルガイドライン実施要綱」に基づき、設計段階から建設発生土の発生抑制、再使用、適正処理を推進している。

建設発生土の処理順序は、まず現場内での利用、次に工事間での利用、これは他の公共工事での活用であるが、この順で検討することとしている。

工事間利用については建設局発注工事のみならず、県庁他局、国、市町村の発注する工事も含めて検討するとともに、区画整理や土地改良といった事業なども調整対象に含めている。それでも調整出来ない場合は、一時的な仮置きとして、県で建設工事を予定している土地や、県が承認した貯留地を利用している。いずれの場合も、発注時に処分先を明記し、必要な費用を計上している。

なお、建設局発注の工事においては、搬出先で処理された土量がかかるような集計表や処分後の写真を提出させ、監督員や検査員が建設発生土が適正に処理されたことを確認している。

【朝日 将貴】

建設残土が山積みとなっている状況が県内各地で見かけるが、現状把握されているか伺う。

【建設企画課長】

建設局発注工事では、建設発生土をどこでどのような形で利用したか、どのように仮置きしているかは把握している。それ以外の市町村発注工事や民間工事の建設発生土の処理状況や仮置き状態については把握はしていない。なお、弥富市の事業で、公害調停が不成立となり提訴したという新聞記事が掲載された後、9月の末になるが、環境局に同様の事例を問い合わせたところ、市町村からは、問題となったり、相談を受けているような事案は報告されていないとのことである。

【朝日 将貴】

住民が不安となるような山を将来発生させないことが大事であります。県も危機感をもって現状の把握に努めるべきと考えますが。

【建設企画課長】

建設発生土の、発生量及び需要量の情報共有については、国から委託を受けた機関が運用する建設発生土情報交換システムを、市町村や民間工事においても活用することや、一時的な仮置きを行うために県で実施している貯留土の制度を市町村に紹介することで、更なる建設発生土の適切な処理につなげていきたい。

また、毎年、建設部門の発注担当課などを対象に「建設部門建設副産物対策連絡会」を開催し、その情報を庁内他局及び市町村へ提供しているが、市町村での建設発生土の処理方法についても情報交換を行うなど、連携を深めていく。

《要望》

県発注工事において建設残土の山は発生していないとのことであるが、市町村、民間を含め残土の受け入れが一部の悪徳ブローカーの温床となっている現実があるのではないかと。原因と状況をしっかりと把握し、今後、残土の山を発生させないよう、前向きに検討願います。

あいち朝日遺跡ミュージアム
オープン!!
2020年11月22日
子供も大人も楽しめる 弥生体感!!
日本最大級とされる吉野ヶ里遺跡(佐賀県)に匹敵する弥生時代の集落跡。
・貴重な出土品の展示
・キッズ考古ラボ
・体験学習・研修
・生活体験「弥生ムラ」
愛知県清須市

新型コロナウイルス感染症予防
引き続き気を緩めずに、しっかり予防して下さい。

不要不急のお出かけは
控えましょう!!

かからない!! うつさない!!